

# んハートフルケアなかの

中野区介護サービス事業所連絡会 発行 会長 田口善彦

## 中野区議会 各党様との政策懇談会について

令和4年8月24日・8月26日・9月5日に中野区区議、各党派の皆様と予算要望会議（意見交換会）に会長・副会長にて参加して参りました。

各部会から上げて頂きました要望に対して、各党派の皆様はしっかりと聞く姿勢があり、大変有用な時間となりました。

特に水道光熱費高騰、物価高騰に伴うダメージは各事業所大きく運営に影響している事かと存じます。



区議としても影響に対して深刻に受け止められ対応が必要であると中野区へ声を出し伝えていただけているようです。

また、中野区以外（東京都、国）への要望や事例に対しても、「上にあげて声を出していくことが必要である」「他区と比べることで根拠となる」とのお言葉もいただいております。



今後も私達の現場の状況をしっかりと声に出し伝えていくことに意味があると感じることができる機会となりました。

お忙しい中、貴重なご意見・ご要望出しへご協力いただきました事業所の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



10月5日には中野区との意見交換会に各部会長も参加していただき開催となりました。

要望への回答を中野区各係の代表の方々と直接お話し、良い意見交換ができたのではないかと思います。



## 中野区リハビリテーション協議会のご案内

私たちは中野区の病院、介護保険施設など様々な分野で働くリハビリテーション専門職の志が一つとなり、2021年に発足しました。現在、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供できる他職種連携が必要とされています。

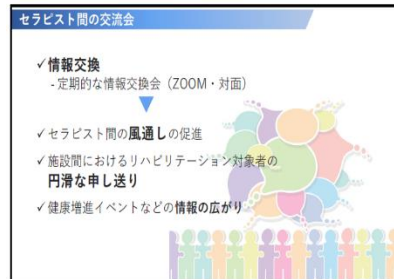
これまではリハビリテーション専門職が団体として地域活動に関われる機会が少なかったです。その中でリハビリテーション専門職の知見を活かし、中野区で実現したい思いから有志が集い始めました。

私たちの主な活動は、リハビリテーションのネットワーク作り及び専門的知見の普及活動、関係機関からの委託業務活動です。日々の現場で働く専門職の知見を地域へ拡大させ、地域住民の医療・保健・福祉の充実に寄与することを目的としています。

その他、中野区で働くリハビリテーション専門職に対しての交流会や研修会等も企画しています。

関連団体や区民の皆様とつながり、より良い健康生活を支援したく思います。

お問い合わせ:nakareha2021@gmail.com



業務依頼書の記載はこちらのQRコードからも可能です



### 中野区を支援するリハ専門職の皆様



## 介護サービス事業所連絡会からのお知らせ

### 業務継続計画 (BCP) について

BCP策定推進チームより連絡です。

新型コロナ感染者数が減ってきましたが、まだ感染した報告が続いています。会員の皆様、業務が忙しいと思いますが、BCPの作成に手をつけていますか？

ガイドラインに沿って記入しようとする大変な作業で時間がかかります。

昨年、介護労働安定センターのご協力でセミナーを開催していただきましたが、先日は実際に策定した例文を提供していただきましたので、早速、会員の皆さんに情報提供をしているところです。

各事業所で参考になるころとならないところがあると思いますが、作成時に必要なところだけでも役立ててください。

なお、情報が必要な方は事業所連絡会事務局までご一報ください。





## 介護支援専門員・主任介護支援専門員部会



中野区介護支援専門員部会は、毎月第3木曜日にオンライン役員会を開催しています。また中野区主任ケアマネジャー連絡会も隔月の第3木曜日に運営しています。

どちらもケアマネジャーのオブザーバー参加も歓迎です。

今年は、長引くコロナ禍でのケアマネジャー自身のメンタルヘルスにも力を入れていきます。

また、地域や医療や行政との連携を進めてきましたが、経済と政治の大切さも実感し多くの人や団体との連携の幅を広げていきます。

ケアマネ部会は、中野区のケアマネジャーが生き活きと活動ができるように応援する応援団です。いつでもご相談ください。

会長 宮原和道



## 通所介護部会

通所介護部会では意見交換や研修を通じて、参加者同士が互いに交流しながら助け合ったりしています。デイサービスは様々な種類のサービス内容がありますが、共通する悩みは多くあり、問題があれば解決の糸口に向けてアイデアを出し合います。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、定期的な開催や顔を合わせての開催も困難な状況が続いており、オンラインでの開催が中心となっています。

通所介護部会では、役員による定例会と各事業所様を含めた勉強会やレク会が隔月第3水曜日に予定しており、定例会やレク会は14時～15時、勉強会は19時～20時30分です。

今後も中野区通所介護事業所のコミュニティの活性化に努めて参ります。



## 介護老人福祉施設部会

介護老人福祉施設部会です。

当部会は平成30年にスタートし、今年で5年目となります。昨年度より、ほぼ毎月ペースでオンライン研修を行い、勉強会や情報交換を行っています。毎回多くの施設が参加し、中野区内の施設同士で交流の機会となっています。

昨年度末に各施設で協力し合い「なかの特別養護老人ホームガイドブック」を作成しました。部数が少なく一部しかお渡しできませんでしたが、今年度は増刷を予定しておりますので、できるだけ多くの方にご覧いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



## 新規事業所紹介

事業所名：ひなた訪問看護ステーション中野

所在地：東京都中野区南台5丁目23-13 アイル方南町502

TEL：03-6382-6979 FAX：03-6382-6978

人員構成：看護師5名 主任ケアマネジャー1名

ひなたと聞いて皆さんはどのようなイメージを持たれるでしょうか？

令和4年7月に中野区南台にオープンした訪問看護ステーション、ひなた訪問看護ステーション。「住み慣れた家で 安心して過ごせる為には どんな事が必要で どのような方法が最適なのか 一緒に考え、そこから始まる関係性を大切にしていこう」ことをミッションに掲げ、緊急加算体制・ターミナルケア加算・特別管理加算を申請し24時間365日の体制をとっているとのこと。また主任ケアマネジャーも在席していることから、介護事業所との連携も他の事業所にはない強みとなっているようです。対象は小児から障がい難病まで幅広く対応しているとのこと。



「ひなた訪問看護のひなたは、ひなたぼっこのひなたですか？」という私の突然の質問にも、代表の毛利美絵さんはとにかく優しく「そうですよ。ひなたぼっこのように嬉しく日が当たる時もあれば辛く悲しく影になる時もあり、いろいろな事を共有し支えたい気持ちから名付けました。」と丁寧に説明いただきました。毛利さんは平成24年に福井県福井市で訪問看護ステーションを立上げ、現在2拠点の訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所を既に運営しており、生まれ故郷の東京の地で新たにステーションを立上げようと中野の地を選ばれました。中野区介護サービス事業所連絡会の皆さんとの交流を積極的にしていきたい、との嬉しいお言葉もいただきました。

(取材：花堂)

## 編集後記

いつも支えていただいている広報の皆様、ありがとうございます。(花堂)

虫たちの鳴き声に秋を感じますね。先日近くで鳴いている～と思ったら家の中でした。(白岩)

わからないことが多く力にならなかったが、今後貢献できるよう頑張っていきたいです。(王)

大谷翔平口スで心がぽっかり。「いよいよ望年会かぁ…」と気持ちを切り替えています(齊藤)

訪問看護の仲間が増えて嬉しいです！秋太りしない様子を付けます！(椎名)

梅雨が明けコロナに追われ気づけば秋。事業所同士励まし合えたつなかりに感謝です。(田村)

メンタルヘルス…。まずは、自分自身が心身ともに健康であれ'と思っております。(廣末)

通勤途中、ほのかに漂ってくるキンモクセイの香りに、秋の深まりを感じています。(佐藤)

**「ハートフルケアなかの」は、中野区介護サービス事業所連絡会ホームページからダウンロードできます。職員、利用者様にも配布してご活用ください。**

**(<http://www.nakano-kaigo.org/>)**

事務局：中野区社会福祉協議会 経営管理課内 担当 小山・佐藤

〒164-0001 中野区中野5-68-7 スマイルなかの4階 (日・祝・第3 月休)

電話：5380-0751 FAX：5380-0750